

ボートレース大村

大村ボートレース場

ボートレース発祥の地



ボートレース大村は、昭和27年4月6日、全国で初めてモーターボートレースを開催した「ボートレース発祥の地」です。

平成30年9月から全レースをナイターレースで開催しています。

事業の収益は、福祉や教育事業、道路やインフラ整備など、本市の社会基盤や福祉の充実に大きく寄与しており、これまで市の財政に1040億円を繰り入れていますが、特にナイターレース開始以降は431億円超の繰り入れを行っています。

令和4年11月には新たな多世代間の交流拠点として、県内最大規模のスケートボードパークや全天候型ボルダリング設備などを有した「コミュニティパーク Gruun^{グリーン}おおむら」を整備しました。

今後も、さらなる売上拡大を図りながら、市の財政に寄与することはもとより、社会貢献・地域貢献に努めます。



白熱するレース



コミュニティパークGruun(グリーン)おおむら